



相談だより 第2号

令和7年9月19日 岩戸支援学校 支援連携グループ相談・地域支援

長かった夏休みが終わり、2学期がスタートしました。現場実習や宿泊学習などの行事が今学期もたくさんあります。まだまだ暑さは続きますので、体調には気をつけてください。

さて、夏休み中に開催した夏季公開講座にご出席いただいた皆様ありがとうございました。第2号では、講座の内容とアンケートでいただいた感想を掲載します。ぜひ、ご一読ください。

✎ 夏季公開講座の報告 ✎

「インクルーシブ教育における 発達障害のある児童生徒への支援とその実践例」

◆日時：7月25日(金)13時30分～15時30分

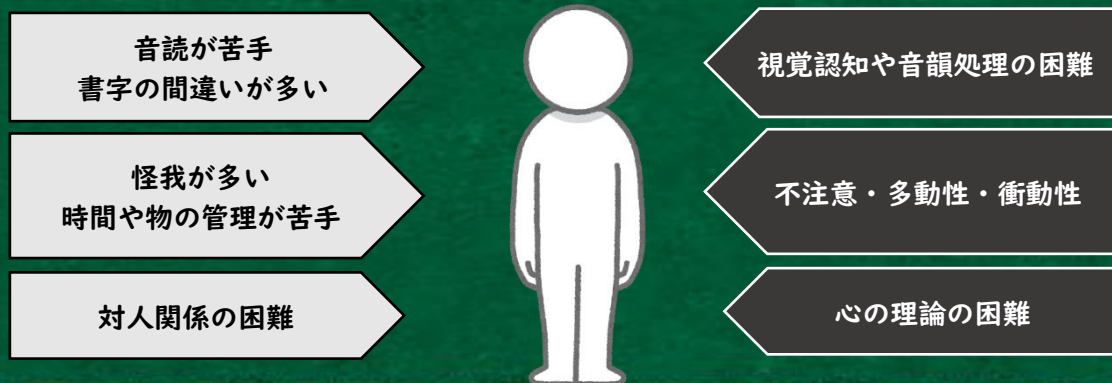
◆会場：本校体育館

◆講師：渡邊 雅俊先生(國學院大學 人間開発学部初等教育学科 教授)

≪講座内容≫

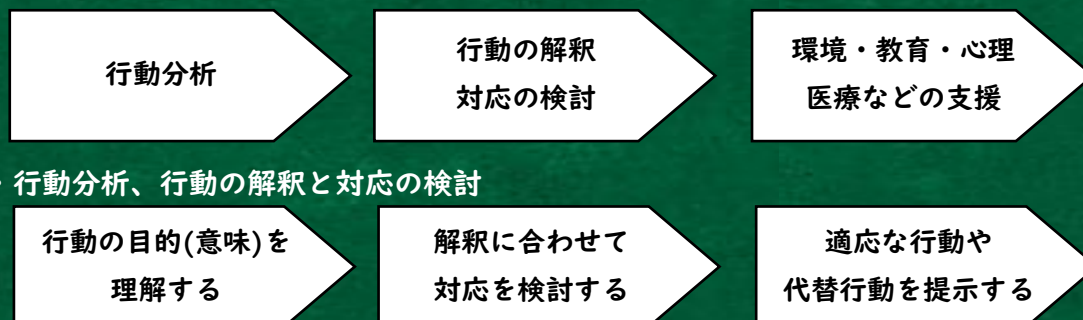
1. 発達障害について

・障害の特性における「見える」部分「見えない」部分について

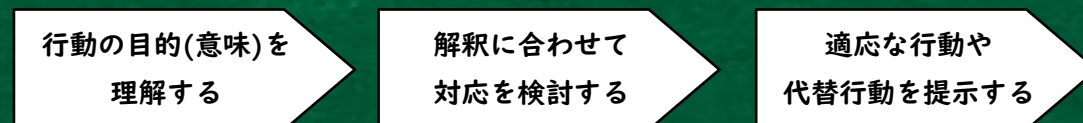


2. 支援の実践

・支援の枠組み



・行動分析、行動の解釈と対応の検討



・支援事例(2ケース)

3.まとめ

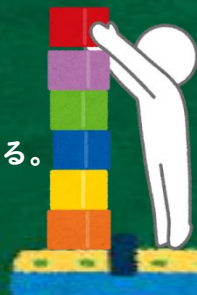
◆インクルーシブ教育では・・・

合理的配慮をすることで、障壁をなくしていく。
障害のある児童生徒とその他の児童生徒との関係性の支援が大切。

◆支援を行う際には・・・

気になる行動を、適応的な行動に調整する。
他の行動に置き換えられるようにする。
適応の過程で生じるストレスに上手く対処できるように支援する。

➡「スモールステップ」がキーワード



《アンケート》

学習面だけではなく、教室内の多個性の子どもたち同士の仲間関係を丁寧に見ていくことが、インクルーシブ教育において大事なことでわかりました。

「今」だけに注目するのではなく、進路や将来のことを考えた上で「今、何ができるか。」という考え方にとても納得しました。

ストレス反応を解消する方法を、子どもと一緒に考えようと思いました。



子どもたちの顔を浮かべながら講義を聞いていました。

気になる行動の前後を分析し、子どもの行動の目的を考えていくことが大切だと思った。気になる行動を止めるだけではなく、代替のものを提案する大切さがあると思った。

スクールカウンセラーも兼務されているということで、実際のエピソードを踏まえた内容だったり使用したツールの紹介もあったりしたことで、とても分かりやすかった。

☎相談担当へ電話をしたいとき☎

相談担当への直通電話は【046-839-4503】です。

進路支援班と同じ番号ですので、お電話でのご相談の際には「相談担当」をお呼び出してください。

担任や連絡帳を通じてのご連絡でも構いません。お気軽にお声がけください。

